

各広域振興局の担当区域

盛岡 広域振興局	盛岡市/八幡平市/滝沢市/雫石町/葛巻町/岩手町/紫波町/矢巾町 (3市5町)
県南 広域振興局	花巻市/北上市/遠野市/一関市/奥州市/西和賀町/金ケ崎町/平泉町 (5市3町)
沿岸 広域振興局	宮古市/大船渡市/陸前高田市/釜石市/住田町/大槌町/山田町/岩泉町/田野畑村 (4市4町1村)
県北 広域振興局	久慈市/洋野町/野田村/普代村/二戸市/軽米町/九戸村/一戸町 (2市3町3村)

縄文時代から地域に根付く漆文化  
国内外で評価される  
伝統技術を後世に

県北  
エリア



二戸地域は、古くから漆との関わりが深いエリア。縄文時代中期の大規模集落跡で、世界遺産に登録された「御所遺跡(一戸町)」からも漆が付着した土器が見つかっています。



朱、黒、溜を基調にした落ち着いた色のある無地の塗り、使うほど美しい艶が生まれます。(画像提供:二戸市)

国内で生産される漆の約7割を岩手県産が占め、その全量が二戸地域で採れる「浄法寺漆」。その漆を使った「浄法寺塗」は岩手を代表する伝統的工芸品であり、近年では海外での人気も高まっています。

2020年6月、文化庁は二戸市と八幡平市が共同で申請した「“奥南部”漆物語～安比川流域に受け継がれる伝統技術～」を「日本遺産」に認定しました。両市を流れる安比川流域は、良質な漆の産地で、生漆生産や漆器製作などを地域で守りつないできた漆文化が高く評価されたものです。

同年12月には、二戸市浄法寺町を中心に伝わる「漆掻き技術」を含む「伝統建築工匠の技 木造建造物を受け継ぐための伝統技術」が、ユネスコ「無形文化遺産」に登録されました。熟練の技で掻きとられた国内最高品質と賞される漆は、日光東照宮や中尊寺金色堂など、数々の国宝や文化財の修復にも使われています。

二戸市は近年、漆掻き職人や塗師を育てるとともに、漆の原木育成にも着手。漆文化を次代に継承するためのさまざまな取り組みを行っています。



二戸市では、漆掻き職人のもとで技術を取得する機会を設けています。(画像提供:二戸市)

お問い合わせ  
県北広域振興局  
二戸農林振興センター  
林務室  
0195-23-9204



二戸農林振興センター  
林務室

伝統製法で作られる  
プルプル食感の「甲子柿」  
ドレッシングやスイーツで召し上がれ

沿岸  
エリア



2015年「橋野鉄鉱山」の世界遺産登録、2019年のラグビーワールドカップ開催などで注目されてきた釜石市。新たな特産品として力を入れているのが伝統製品「甲子柿」を使用した加工品です。



煙でいぶすことによってカリウム、ビタミンC、リコピンなどの栄養素が増すという甲子柿。

「甲子柿」は、釜石市内で育てられた渋柿を、柿むろと呼ばれる密閉した場所で、煙でいぶして渋を抜き、甘さを凝縮した柿です。上品な甘さで栄養価が高く、地元では古くから親しまれてきた秋の味覚です。しかし、長期保存が難しいことなどから、市場に出回ることが少なく、生産量も年々減少していました。

そこで、「甲子柿で地元を盛り上げたい」との思いから「甲子柿を守る会」や生産組合、釜石市などが力を合わせ、長年の懸案だった甲子柿の長期冷凍保存技術や加工品の開発に成功。販売機会も拡大し、今ではさまざまな場所で甲子柿を味わうことができるようになりました。

2021年3月には、地域に根差した農林水産物をブランドとして守る制度「地理的表示(GI)保護制度(農林水産省)」に甲子柿が登録され、これを機にさらなる知名度アップと生産拡大を目指しています。釜石市を訪れた際には、甲子柿を食べて、地域の良さをより味わってみませんか。



甲子柿は、ジェラートやドレッシングなどの加工品でも味わえます。

お問い合わせ  
沿岸広域振興局農林部  
農林調整課  
0193-25-2704



沿岸広域振興局  
農林部

4 広域振興局からのお知らせ

広域振興局とは、地域振興、産業振興、保健福祉など、広域的な課題に取り組む岩手県庁の総合出先機関です。県内にはエリア(広域振興圏)ごとに、「盛岡広域振興局」「県南広域振興局」「沿岸広域振興局」「県北広域振興局」の4つの広域振興局が設置されています。この4つの広域振興局から折々のお知らせをお届けします。

※新型コロナウイルス感染症の拡大などの状況によっては、掲載した内容に変更が生じる場合があります。

参加するほど楽しみが増える!  
「いわて県南レジェンドランナーズ17」  
オンライン企画も新登場!

県南  
エリア



「いわて県南レジェンドランナーズ17」は、県南地区のマラソン大会などをシリーズ化し、ランナーの皆さんに楽しんでいただくイベント。参加実績によってポイントが得られ、1年間の獲得ポイントに応じて称号や賞品が贈られます。スーパー、レジェンド、ゴッドの称号を目指す本格派から、気軽に楽しむことが目的の方まで、参加の仕方はさまざまです。

6月に開催された東北希望の禪マラソン北上大会

今年度は例年開催している大会のほか、新型コロナウイルス感染症対策に配慮したオンライン企画などを追加し、新しい形でスタートを切りました。

オンライン企画は、指定された期間とテーマに沿って、走る距離やコースなどを設定し、好きな日時にチャレンジできます。県南地区の桜、チューリップ、アジサイなどの「花の名所」を巡りながら走る「お花見RUN」のほか、ご当地グルメやスイーツを巡りながら走る「グルメRUN」など、従来のマラソンとは違った楽しみ方も味わえるのが魅力です。

三密を避けて運動できるコロナ禍にぴったりの企画ですので、ぜひ参加してみませんか。

また、いわて県南レジェンドランナーズ運営を補助する「県南レジェンドボランティア」も募集中。ランナーのサポートを通じて一緒に地域を盛り上げましょう。



登録特典シリコンバンド

お問い合わせ  
県南広域圏スポーツ等  
連携事業実行委員会事務局  
県南広域振興局  
経営企画部  
企画推進課  
0197-22-2812



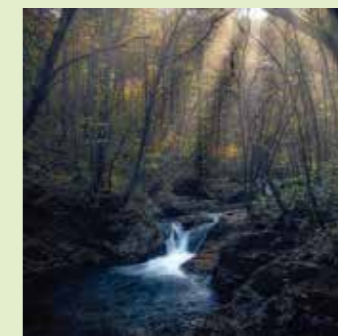
いわて県南  
レジェンド  
ランナーズ17  
公式ホームページ

葛巻の四季を彩るカラマツの  
フォトコンテストを開催  
ぜひご応募ください!

盛岡  
エリア



豊かな自然に囲まれた高原地帯に位置する葛巻町。牧場やワイン工房、風車などが並び、高原らしい景観をより一層際立たせているのがカラマツの木々です。カラマツは、国内の針葉樹のなかで数少ない落葉樹。春は新緑、秋には黄葉と四季折々の表情で私たちの目を楽しませてくれます。



令和2年度の1位獲得作品

そこで県は、カラマツのある景色をもっと楽しんでいただくため、「くずまきカラマツフォトコンテスト」を開催しています。募集作品は葛巻町内で撮影したもので、カラマツが写っているもの。応募は、公式Instagram「kuzumaki\_karamatsu」をフォローし、指定ハッシュタグ「#くずまきカラマツ2021」をつけて投稿してください。

12月24日(金)10:00の時点で「いいね!」の獲得数上位3位までの方に賞品が贈呈されるほか葛巻町長賞10作品も表彰されます。撮影ポイントや応募方法など、詳しくは公式ホームページでご確認ください。

また、カラマツは、強度が高く、木材断面の中心部の赤褐色と、外周部の白色のコントラストが美しいことから、住宅の柱・梁や羽目板、床板などに使用されています。葛巻町では、「岩手くずまき高原カラマツ」としてブランド化する取り組みも進めています。さまざまな魅力と可能性を秘めたカラマツ。これからの時期、カメラを片手に葛巻町へ出かけませんか。

お問い合わせ  
盛岡広域振興局  
林務部 森林保全課  
019-629-6616



盛岡広域振興局  
林務部